

校 園 長 室 か ら



学校教育目標

共に学び共に伸びる子ども

- ・いのちを大切にできる子ども
- ・だれとでも仲良く協力し合う子ども
- ・意欲をもち学習する子ども
- ・ねばり強くはたらく子ども

令和 8 年 6 月 10 日 第 109 号

修学旅行の思い出②

修学旅行で東京ドーム近くのホテルに泊まったときのこと。

事前にホテル側から部屋の電話が自由に使える部屋同士自由に話せると聞いていました。部屋番号を押せば、その部屋と電話がつながるシステム。

携帯電話の取り扱いは、「愛・地球博」の金属探知が助けてくれましたが、このホテルの電話をどう対応するか。知らないふりしてそっと黙っていることも考えたのですが、それも自信がない。

夕食を終えた時の諸注意で全部正直に話すことに。

「部屋についている電話は、使えます。外へかけると料金が発生し、かけた相手もわかります。部屋同士の会話は無料で、どこにかけたかはわかりません。」

そこへ続けて「私が部屋の電話を鳴らすかもしれません。電話に出たらどうなるかは、想像してください」と脅しをかけました。

真夜中の 1 時ごろに次の日の打ち合わせをします。

その時にホテルの支配人から「朝 6 時にモーニングコールをかけましょうか」と提案があり、有難いとばかりお願いしました。

部屋の電話のことは、すっかり忘れていました。

朝、6 時。ホテルの支配人が飛んできました。

「どの部屋も電話に出ません」と。モーニングコールは、部屋の電話が鳴るシステムでした。あわてて支配人に事情を話し、各部屋へ電話に出るように回ろうとすると、一人の生徒が震えながら廊下に立っていました。

「先生、電話が鳴りやみません」と。

あの時、廊下で震えていた生徒、元気にしてるかな。